

平成26年度 東海ブロッククラブネットワークアクション2014

開催報告

日時：[第1日目] 平成26年11月22日（土） 13：00～16：45

[第2日目] 平成26年11月23日（日） 9：00～12：00

会場：一般社団法人岐阜県勤労福祉センター「ワークプラザ岐阜」 大ホール（5F）・大会議室（4F）

内容：

[1日目]

① 開会式（挨拶・趣旨説明）

② グループディスカッション

『ポジション・役割別にクラブ運営の諸問題を考えよう』

(A) クラブのトップマネジメント

(B) クラブの財務・会計担当者

(C) クラブの広報担当者

(D) スポーツ実技指導者

③ 初日のワークについてのまとめ

[2日目]

① 日本体育協会からの情報提供

② グループワーク

『対象別プログラムのアイデアを出してみよう』

(A) 子ども向けプログラム

(B) シニア向けプログラム

(C) 一般男性向けプログラム

(D) 一般女性向けプログラム

③ 2日目および全体のまとめ



【概要】

今回は、クラブに関わる様々な立場の人にとってプラスになるような内容、およびマンネリ化しているクラブ運営に新たな風を送り込めるような内容という視点で実行委員会の協議が行われました。

初日には、クラブに関わる様々な立場の人を対象とする内容として、『ポジション・役割別にクラブ運営の諸問題を考えよう』と題したポジションごとの研修会を実施しました。トップマネジメント、広報担当、財務や経理担当、そして実技指導者という4つのグループに分け、それぞれの立場のスタッフにとって研鑽の場となるように研修が展開されました。

2日目は、マンネリ化しているクラブ運営に新風を吹き込む企画として、『対象別プログラムのアイデアを出してみよう』と題した新たなクラブ事業の可能性を検討するグループワークを開催しました。ジュニア対象、シニア対象、女性対象、そして一般男性対象の4つのグループに分かれ、事業企画のポイントなどが討議されました。

【討議内容】

[1日目]

『ポジション・役割別にクラブ運営の諸問題を考えよう』

【クラブのトップマネジメントのための研修】

ゲストスピーカーに、企業のトップマネジメントである(株)トヨタオートモールクリエイティブ代表取締役である仁科正夫氏を招き、企業のトップマネジメントが直面する課題やトップマネジメントの心構えなどについてレクチャーをしていただきました。その後、トップマネジメントの役割や心構えなどについて、フロアのクラブ代表者の方々と質疑応答や議論が展開されました。

【クラブの財務・会計担当者の研修】

クラブの財務や会計についてのシミュレーション的な練習問題を用意し、集まった財務や経理に関わるスタッフの皆さんにまずは解答をしていただきました。その後、コーディネーターや助言者による解説とともに、現場で起こる経理会計上の諸問題についての議論が展開されました。

【クラブの広報担当の研修】

ゲストスピーカーに、現役デザイナーとしてチラシやパンフレットの作成に携わる谷澤卓氏を招き、チラシや広報誌等を作成する際の文字・色使い・レイアウト・情報量などについての解説をしていただきました。その際に、あらかじめ依頼しておいたサンプルチラシを専門家の視点でリメイクしていただき、ビフォーアフターの形で示していただきました。さらには、広報担当のフロアメンバーからの様々な質問に対して、デザイナーの立場から回答をしていただく形で議論が展開されました。

【スポーツ実技指導者の研修】

ゲストスピーカーとして『スポーツマンのこころ』で有名な岐阜経済大学高橋正紀教授に、スポーツ指導者の心構えや視点について解説がなされました。そして、フロアに集まった各クラブの実技指導者から出される様々な疑問や課題について、グループ全体で討議が展開されました。



[2日目]

『対象別プログラムのアイデアを出してみよう』

【子ども向けプログラムについて】

クラブのプログラムに参加する子どもと、そこへ子どもを預ける親御さん達が何を求めているかを考えながら、参加者のクラブで行われている事例の紹介からはじまり、今後子どもに対してクラブがどのようなプログラムを提供していくべきかについて、参加者の中で活発な議論が展開されました。

【シニア向けプログラムについて】

中高年の住民がクラブに何を求めてプログラムに参加するのかについてのブレインストーミングから始まり、それらのニーズに対応するためにどのようなプログラムが適しているかについて議論が進められました。新たな種目の可能性にとどまらず、運営上の留意点等についても協議されました。

【一般男性向けプログラムについて】

いずれのクラブにとっても最も会員層が薄いとされる一般男性を、いかにしてクラブ事業に動員していくかという問題をメインの課題として、議論が展開されました。特に、対象となる一般男性に事業を展開していく上で、どのような競合関係が市場に存在するのかという点についても議論され、成人男性を少しでもクラブに動員する有効なプログラムのアイデアが出されました。

【一般女性向けプログラムについて】

成人女性がスポーツクラブのプログラムに何を求めて参加し、どのような成果を期待するのかについて議論し、そのうえでクラブとしてはどのようなプログラムを提供すべきかについて討議されました。女性会員を多く獲得しているクラブの事例なども紹介され、それらを参考に助成対象のプログラム像を創りあげるべく、フロアが一体となって積極的な議論が展開されました。



【まとめ】

参加者数としては、例年並みでありましたが、今回のプログラムの内容も手伝って、ひとつのクラブから複数の方に参加していただきました。特にクラブ事務局で実務に携わる女性スタッフの参加が予想以上に得られたことは、今回の企画がねらった方向の手応えを感じられる結果となりました。

一方的に与える研修会でなく、双方向で議論や情報交換ができる会を目指そうという実行委員会での思惑は見事に当たり、フロアで積極的な話し合いが行われただけでなく、初日夜の情報交換会にも大勢の参加者が得られ、参加者のみなさんに満足していただけたと思います。

雑談レベルでも参加者の皆さんから「いい研修だった。楽しかった。」などのご意見をいただき、スタッフ一同も高い満足感を得る形で終わることができました。

しかしながら、東海地区のSC ネット加盟クラブの中にも今回不参加のクラブはまだ多いのが現状です。加盟クラブの皆さんのニーズに応えられたのか、プロモーションの方法は適切で充分であったかなど、今後の開催に向けて検討していくべき課題も見つかったといえます。

次年度以降もさらに内容を吟味し、参加者が「是非参加したい。」と思っただけの研修会にしていきたいと思います。

東海ブロッククラブネットワークアクション 2014
実行委員長 築瀬 歩